

ごあいさつ

高鍋町では、平成22年3月に策定した第5次高鍋町総合計画において定めた町の将来像『住民参画による快適で美しいまち「たかなべ」～子どもがにぎわうまちづくり～』の実現に向け、各種施策を展開してきました。



しかしながら、人口減少と少子高齢社会の到来、地方分権・地方創生の推進、安全・安心を求める意識の高まりなど、本町を取り巻く社会情勢は大きく変化し、新たな課題も出てきています。

中でも、人口減少社会に対応し、若い世代の活力が損なわれることなく、今の子どもたちが将来の地域社会の担い手として活躍することのできる基盤を築くことは、本町にとって大変重要であると考えています。

このような中、本町では、「歴史と文教の城下町 たかなべ ～ 対話でつながる豊かで美しいまちづくり～」を町の将来像とした第6次高鍋町総合計画前期基本計画（高鍋みらい戦略）を策定しました。本計画は、平成28年に策定した「高鍋町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を包含する計画としつつ、対話を通じて「自分たちのまちは自分たちで形づくり」という協働意識を醸成し、みんなでまちづくりを進めていくことを目指した内容としています。

また今回の策定にあたり、計画の策定期間中に延べ4回の町民ワークショップを開催し、多くの町民の皆様からのご意見をいただくとともに、まちづくりは身近で誰もができる活動であるということを感じていただきました。

今後は、この計画を基本とし、町民と事業者、行政との連携を図りながら対話を通じて高鍋らしいまちづくりを推進し、幸せを実感できるまちを目指してまいります。

終わりに、本計画の策定にあたりまして、町民意識調査にご協力いただいた皆様、町民ワークショップにご参加いただいた皆様、また計画案の審議にご尽力いただいた高鍋町総合計画審議会委員の皆様をはじめ、貴重なご意見をいただきました皆様方に心より感謝申し上げます。

平成29年10月

高鍋町長 黒木 敏之